



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月9日

上場会社名 昭和パックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3954 URL <http://www.showa-paxxs.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野寺 香一  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 清水 貴雄 TEL 03-3269-5111  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	11,734	8.2	638	△14.0	756	△8.6	530	△8.1
2022年3月期第2四半期	10,849	-	741	-	826	-	576	-

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 498百万円 (△29.9%) 2022年3月期第2四半期 710百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	119.41	-
2022年3月期第2四半期	129.88	-

(注) 前第1四半期連結会計期間の期首から「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	30,281	20,477	65.1	4,441.60
2022年3月期	29,396	20,076	66.0	4,367.75

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 19,720百万円 2022年3月期 19,392百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	19.00	-	21.00	40.00
2023年3月期	-	20.00			
2023年3月期(予想)			-	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,100	2.3	1,170	△16.6	1,360	△14.1	950	△13.8	213.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	4,450,000株	2022年3月期	4,450,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	9,961株	2022年3月期	9,961株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	4,440,039株	2022年3月期2Q	4,440,039株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)における我が国経済は、4～6月期は個人消費や設備投資の回復を主因としてプラス成長となりましたが、その後感染第7波や物価高で個人消費は足踏み、中国の都市封鎖による供給制約の影響が剥落されたものの輸出が伸び悩み7～9月期の成長率は鈍化する予想が散見されます。

鉱工業生産指数については4月と5月は中国での都市封鎖の影響を受けて低下しましたが、6月に都市封鎖の解除などを受けて上昇に転じました。7月と8月は部材供給不足の影響が緩和したことなどから上昇していましたが、9月はその反動などから低下しました。

当社グループの主要事業は国内生産動向の影響を受けやすい産業用包装資材の製造・販売であり、当第2四半期連結累計期間の業績も、内外の工業生産動向を反映したものになりました。また、資源価格は一時に比べれば騰勢が弱まりましたが依然として高値圏で推移しております。連結売上高は11,734百万円で前年同期に比して885百万円の増収でした。原材料やエネルギー価格などの高騰による原価率上昇の抑制を行いました。営業利益638百万円(前年同期比103百万円の減益)、経常利益756百万円(同70百万円の減益)、親会社株主に帰属する四半期純利益530百万円(同46百万円の減益)となりました。

セグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります。

#### ○重包装袋

重包装袋部門の主力製品であるクラフト紙袋は、業界全体の当第2四半期連結累計期間出荷数量(ゴミ袋を除く)は、前年同期を2.5%下回りました。農水産物、塩、砂糖・甘味、製粉用途は増加しましたが、合成樹脂、化学薬品、セメント用途が大きく減少しました。重包装袋の主原材料であるクラフト紙の価格は、原燃料費の急騰を背景に、春以降は値上がり基調が続いています。

当社の売上数量は前年同期比1.0%減少しました。業界の傾向と同じく、合成樹脂用途が大きく減少しました。塩、砂糖・甘味、製粉の用途は増加しました。化学薬品用途は業界の傾向に反して増加しました。

子会社の九州紙工(株)は、米麦袋の減少を一般袋で補い、売上数量は前年同期から6.9%増加しました。タイ昭和パックス(株)の当第2四半期連結累計期間(1～6月)は、従業員の新型コロナウイルス感染者発生による製造数の減少と、輸送コンテナ不足による出荷の繰り越し、また一部の主要顧客の減産が影響して、売上数量は前年同期と比べ10.7%の減少となりました。山陰製袋工業(株)の当第2四半期連結累計期間(1～6月)は、主力の両底貼袋、および米麦袋が減少したことで、売上数量は前年同期比0.4%の微減となりました。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は6,967百万円で前年同期に対して2.3%の増収となりました。

#### ○フィルム製品

フィルム製品の業界全体の当第2四半期連結累計期間の出荷量は、前年同期から産業用は減少、農業用は増加で、全体では0.7%増加しました。主原材料であるポリエチレン樹脂の価格は、原油およびナフサ価格の変動を受けて値上げが繰り返されました。

当社の売上数量は、産業用が減少、農業用は増加で、合計では前年同期比+1.1%でした。産業用で熱収縮包装フィルム「エスタイト」、農業用でハウスフィルム「バーナルハウス」、サイレージ用フィルム「エスラップ・グリーン」が増加しました。産業用の「アスベスト隔離シート」は減少しました。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は2,031百万円で前年同期に対して13.7%の増収となりました。

#### ○コンテナ

粒状内容物の大型輸送用ワンウェイ・フレコンは、業界の出荷量は、国内生産品と海外生産品を合わせると、化学工業品、合成樹脂用途が増加、食品用途は減少しました。全体では前年同期から僅かながら増加となりました。海外からの輸入量も前年から増加しています。

当社のワンウェイ・フレコン「エルコン」の売上数量は、前年同期比+3.0%でした。大型ドライコンテナ用インナーバッグ「バルコン」、液体輸送用1,000ℓポリエチレンバッグ「エスキューブ」、液体輸送用コンテナライナー「エスタンク」は減少しました。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は1,248百万円で前年同期に対して10.6%の増収となりました。

#### ○不動産賃貸

賃貸契約内容に変動はありません。当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は前年同期から横ばいの127百万円でした。

## (2) 財政状態に関する説明

## 1) 資産、負債、純資産の状況

## (資産)

当社グループの当第2四半期連結会計期間末総資産は30,281百万円で、前連結会計年度末に比べて885百万円増加しました。主な増加要因は現金及び預金491百万円、受取手形及び売掛金517百万円、電子記録債権143百万円および有形固定資産248百万円です。主な減少要因は投資有価証券684百万円です。

## (負債)

負債合計は9,803百万円で、前連結会計年度末に比べて484百万円増加しました。主な増加要因は支払手形及び買掛金239百万円、電子記録債務314百万円およびその他の流動負債245百万円です。主な減少要因は繰延税金負債220百万円です。

## (純資産)

純資産合計は20,477百万円で、前連結会計年度末に比べて400百万円増加しました。主な増加要因は親会社株主に帰属する四半期純利益530百万円および為替換算調整勘定389百万円です。主な減少要因はその他有価証券評価差額金479百万円です。

## 2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて514百万円増加して8,108百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は678百万円（前年同期比662百万円の収入減）となりました。主な内訳は税金等調整前四半期純利益753百万円、減価償却費291百万円、売上債権の増加△612百万円、仕入債務の増加501百万円ならびに法人税等の支払△224百万円です。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は251百万円（同367百万円の支出減）となりました。主な内訳は有形固定資産の取得による支出223百万円です。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は103百万円（同8百万円の支出増）です。主に配当金の支払による支出93百万円です。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、前年同期に比べると増収減益の結果となりました。第1四半期から続く原材料やエネルギー価格などの高騰による原価率の上昇が収益圧迫の主要因です。第3四半期以降も引き続き採算の確保を進めてまいります。当連結会計年度（2022年4月1日～2023年3月31日）通期の業績見通しにつきましては、現状では当初の予想（2022年5月12日発表）を変更せず、連結売上高22,100百万円、連結経常利益1,360百万円、親会社株主に帰属する当期純利益950百万円を見込みます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,047,076	8,538,262
受取手形及び売掛金	6,159,514	6,677,352
電子記録債権	678,800	822,172
商品及び製品	1,074,091	1,163,003
仕掛品	112,213	144,404
原材料及び貯蔵品	1,100,263	1,117,916
その他	296,469	343,096
貸倒引当金	△11,638	△13,832
流動資産合計	17,456,791	18,792,376
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,653,856	8,837,348
減価償却累計額	△6,181,031	△6,340,886
建物及び構築物(純額)	2,472,824	2,496,462
機械装置及び運搬具	10,449,126	10,757,645
減価償却累計額	△9,037,804	△9,368,087
機械装置及び運搬具(純額)	1,411,322	1,389,558
土地	900,539	920,988
建設仮勘定	27,108	254,318
その他	853,623	874,706
減価償却累計額	△770,569	△792,697
その他(純額)	83,053	82,009
有形固定資産合計	4,894,848	5,143,336
無形固定資産		
ソフトウェア	146,031	144,338
無形固定資産合計	146,031	144,338
投資その他の資産		
投資有価証券	6,014,671	5,330,549
退職給付に係る資産	687,413	692,841
繰延税金資産	59,522	63,305
その他	144,444	122,074
貸倒引当金	△7,660	△7,660
投資その他の資産合計	6,898,392	6,201,111
固定資産合計	11,939,272	11,488,785
資産合計	29,396,063	30,281,161

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,356,599	3,596,374
電子記録債務	1,529,767	1,843,846
短期借入金	1,060,000	1,057,000
未払法人税等	267,767	237,242
賞与引当金	388,751	367,647
役員賞与引当金	21,680	16,120
設備関係支払手形	18,659	10,681
営業外電子記録債務	45,709	32,528
その他	654,484	899,699
流動負債合計	7,343,420	8,061,139
固定負債		
長期借入金	66,000	66,000
繰延税金負債	1,357,706	1,136,961
役員退職慰労引当金	150,127	113,745
退職給付に係る負債	229,976	251,148
資産除去債務	4,435	4,435
長期預り保証金	162,993	161,325
その他	4,634	9,090
固定負債合計	1,975,873	1,742,706
負債合計	9,319,293	9,803,846
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	640,500	640,500
資本剰余金	289,846	289,846
利益剰余金	15,285,967	15,722,908
自己株式	△9,441	△9,441
株主資本合計	16,206,872	16,643,814
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,774,361	2,294,993
為替換算調整勘定	162,937	552,590
退職給付に係る調整累計額	248,826	229,500
その他の包括利益累計額合計	3,186,125	3,077,083
非支配株主持分	683,771	756,416
純資産合計	20,076,770	20,477,314
負債純資産合計	29,396,063	30,281,161

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	10,849,763	11,734,768
売上原価	8,820,917	9,777,409
売上総利益	2,028,846	1,957,359
販売費及び一般管理費	1,286,874	1,319,087
営業利益	741,971	638,271
営業外収益		
受取利息	1,648	1,919
受取配当金	70,578	90,408
為替差益	12,157	24,219
その他	5,603	5,473
営業外収益合計	89,987	122,021
営業外費用		
支払利息	4,117	3,996
その他	1,063	276
営業外費用合計	5,181	4,273
経常利益	826,778	756,019
特別損失		
固定資産除却損	2,972	2,132
投資有価証券売却損	2,681	-
特別損失合計	5,654	2,132
税金等調整前四半期純利益	821,124	753,887
法人税、住民税及び事業税	210,121	190,494
法人税等調整額	2,479	△1,764
法人税等合計	212,600	188,729
四半期純利益	608,523	565,157
非支配株主に帰属する四半期純利益	31,849	34,975
親会社株主に帰属する四半期純利益	576,674	530,182



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	608,523	565,157
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	116,247	△480,622
為替換算調整勘定	0	432,947
退職給付に係る調整額	△14,032	△19,326
その他の包括利益合計	102,214	△67,001
四半期包括利益	710,737	498,155
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	678,258	421,140
非支配株主に係る四半期包括利益	32,479	77,015

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	821,124	753,887
減価償却費	272,058	291,799
長期前払費用償却額	126	141
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,727	1,950
賞与引当金の増減額 (△は減少)	236	△21,103
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,840	△5,560
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8,022	16,384
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△2,590	△5,427
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7,580	△36,381
受取利息及び受取配当金	△72,227	△92,328
支払利息	4,117	3,996
固定資産除却損	106	2,132
投資有価証券売却損益 (△は益)	2,681	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△551,903	△612,549
棚卸資産の増減額 (△は増加)	137,171	△65,234
仕入債務の増減額 (△は減少)	773,464	501,115
退職給付に係る調整累計額の増減額 (△は減少)	△20,227	△27,858
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△21,810	△45,746
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	96,052	134,602
その他	758	21,162
小計	1,458,310	814,982
利息及び配当金の受取額	72,227	92,328
利息の支払額	△4,624	△4,337
法人税等の支払額	△185,049	△224,944
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,340,862	678,029
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△389,039	△391,313
定期預金の払戻による収入	388,481	442,033
有形固定資産の取得による支出	△602,563	△223,005
無形固定資産の取得による支出	△14,131	△69,252
投資有価証券の取得による支出	△8,962	△9,727
投資有価証券の売却による収入	7,577	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△618,637	△251,264

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,000	△3,000
配当金の支払額	△84,360	△93,240
非支配株主への配当金の支払額	△4,370	△4,370
その他	△3,067	△3,129
財務活動によるキャッシュ・フロー	△94,798	△103,740
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	191,693
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	627,427	514,716
現金及び現金同等物の期首残高	7,123,104	7,593,733
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,750,531	8,108,449

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	6,810,438	1,787,899	1,129,363	-	9,727,702	993,888	10,721,591
その他の収益	-	-	-	128,172	128,172	-	128,172
外部顧客に対する売上高	6,810,438	1,787,899	1,129,363	128,172	9,855,874	993,888	10,849,763
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	6,810,438	1,787,899	1,129,363	128,172	9,855,874	993,888	10,849,763
セグメント利益	674,434	103,649	19,228	80,409	877,721	76,213	953,935

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	877,721
「その他」の区分の利益	76,213
全社費用(注)	△211,963
四半期連結損益計算書の営業利益	741,971

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	6,967,043	2,031,967	1,248,705	-	10,247,716	1,359,519	11,607,236
その他の収益	-	-	-	127,532	127,532	-	127,532
外部顧客に対する売上高	6,967,043	2,031,967	1,248,705	127,532	10,375,249	1,359,519	11,734,768
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	6,967,043	2,031,967	1,248,705	127,532	10,375,249	1,359,519	11,734,768
セグメント利益	640,693	10,249	18,234	80,708	749,886	93,383	843,270

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	749,886
「その他」の区分の利益	93,383
全社費用(注)	△204,998
四半期連結損益計算書の営業利益	638,271

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。